

世界のすべての人々に発展可能な未来を確保したい。一部の裕福な人々に留まることなく、貧困に陥っている多くの人々にも、人間らしい希望ある生活を実現したい。そのために、環境成長経済への移行が人類共通課題であると認識します。

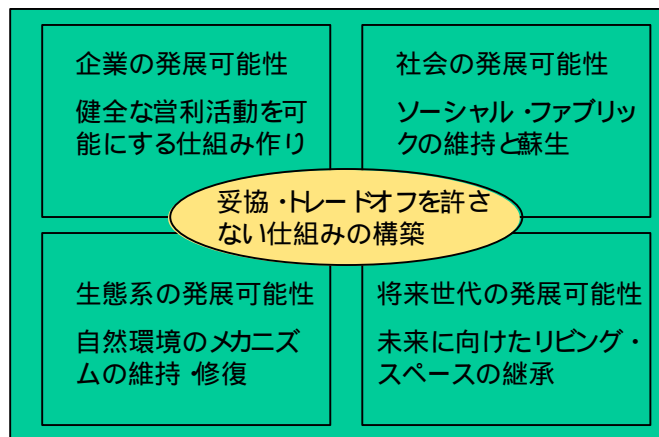
環境成長経済とは、「生態系の原則を尊重しつつ機能する市場経済」のことを意味します。「成長」は、自然の原理であり、人間にとっての一つの目標です。生態系が、同じ発展段階をただ維持するということはありません。人間やその他の動植物も、常に変化・発展し、成長します。ただし、これまでの経済成長のあり方では、成長が必ずやエネルギーと資源消費の増大を引き起こし、そして廃棄物や有害物質の大量排出を招いてきました。このような「破壊的成長」と別れを告げます。環境成長経済は、新たな発展可能性への道を開く「創造的成長」の実現を目標とします。

地球ではいま、多くの「成長」が求められています。貧困から脱出し、健全な生活を送れる人々の数の成長。飢えに苦しむことなく、元気に育つ子供の数の成長。地球温暖化を引き起こすことなく使用できるエネルギー源・技術・商品のマーケットシェアの成長。そして、地球への足跡を軽やかにする優雅な企業と優雅な国家の成長。成長の可能性を否定することは、世界の主たる問題の解決策になりません。新しい原理・原則に基づき、新しい行動を伴う創造的成長が目指すべき将来目標です。

企業の発展可能性、地球市民社会の発展可能性、生態系の発展可能性、そして将来世代の発展可能性。これら4つの発展可能性の間に、環境経済成長は、妥協を許しません。また、トレード・オフも認めません。もしも、妥協やトレード・オフが見受けられるとすれば、それは一時的なものであり、人間の知恵と謙虚に学びつづける姿勢によって必ず克服していくものです。

企業としては、4つの発展可能性を同時達成するための新しい価値創造を実現します。価値観とビジョンを醸成し、製造・事業工程を再構築し、新しいビジネスモデルと商品・サービスを生み出していきます。そして、市民、行政、国際機関など、経済活動におけるの役者に自ら働きかけ、解決が複雑な問題に、協働と共創の精神で取組みます。

【発展可能性の4側面】



【企業の経営資源と持続可能な価値創造】



持続可能な価値創造は、経済価値醸成の前提として、社会資本の維持と蘇生、自然資本の保全と修復を、外部要因としてではなく、価値創造の一部として捉えます。包括的価値の視点を尊重しなければ、将来の発展可能性を狭める経済活動となり、価値創造ではなく、価値破壊を引き起こします。

環境成長経済の実現には、社会・経済における各主体の協働が欠かせません。さまざまな要素のダイナミックな統合によって、それまでになかった行動レベルへと向上し、実質的变化を促す。

Actor(推進役):
企業

持続可能性を自社のコアバリューとして明確にトップから打ち出し、浸透を図る
自社の持続可能な価値創造の戦略・ロードマップを描き、タスクフォースを設置する
新しいビジネスモデル(およびサービス・商品)の積極的な普及を図る
自社の次世代リーダーの実用的なエコリテラシーの向上を図る

DRAFT

